

令和3年度

学 力 向 上 プ ラ ン  
【後期】



上尾市立大石北小学校

## 目 次

上尾市立大石北小学校学力向上プラン「グランドデザイン」	1
-----------------------------	---

### 1 学力調査結果の概要

(1) 上尾市立小・中学校学力調査	2
【2～6年生：国語、算数】	
(2) 全国学力学習状況調査	7
【6年生：国語、算数】	
(3) 埼玉県学力・学習状況調査	9
【4～6年生：国語、算数】	

### 2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組	10
① 国語科 学力向上プラン	
② 社会科 学力向上プラン	
③ 算数科 学力向上プラン	
④ 理 科 学力向上プラン	
⑤ 他教科の授業改善	
生活科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科、英語活動・外国語活動・外国語科、 特別の教科 道徳	
(2) 教育活動全体を通じた取組	24
○本校の特色ある取組	
○家庭教育との連携	

# 上尾市立大石北小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

## 学校教育目標

心豊かでたくましい子

- やさしい子
- かしこい子
- 明るく強い子
- すなおな子

## 学校課題研究主題

「自分の考えを書いて表現できる児童の育成」  
-論理的思考力の向上を目指して-

## 学力・学習状況調査の結果

R3 全国学力・学習状況調査	R3 埼玉県学力・学習状況調査	R2 上尾市立小・中学校学力調査
<p>国語では、書くことにおいて、全国平均を上回ったと共に、無解答率が、全国・県より下回ることができた。</p> <p>国語・算数共に正答率が全国・県を下回った。国語では、読むことに課題がある。算数では、図形領域に課題がある。</p>	<p>6年生の国語、5年生の国語・算数において伸び率が県を上回った。また、4・5年生の国語・算数の正答率は、市・県を上回った。</p> <p>6年生の算数の伸び率と正答率が市・県より低く、図形問題が課題である。国語は、読解問題が課題である。</p>	<p>国語・算数共に、全学年とも概ね学力の定着が見られた。</p> <p>国語では、文章を読み取る力、書く力が課題である。算数では、問題の読み取りと立式が課題である。</p>

## 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着</li> <li>○体験活動を通じた知識・技能の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な学習事項を応用する力</li> <li>○自分の意見を正しく相手に伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より良く判断し、主体的に学ぶ姿勢</li> </ul>

## 学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確な学習課題の設定</li> <li>○少人数指導の工夫・改善</li> <li>○家庭と協力した学習</li> <li>○体験活動を通じた学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本を活用する場面の意図的な設定</li> <li>○協働的な学習形態を取り入れた、深い学びの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の工夫・改善</li> <li>○学習規律の確立を図る取組</li> <li>○見通しをもたせ、学習を振り返る時間の設定</li> <li>○自己評価シートの工夫・改善</li> </ul>

## 本校の特色ある取組

- 業前活動に朝読書を取り入れ、読書活動の推進をしている。
- 業前活動に国語・算数タイムを取り入れ、習熟が必要な学習を繰り返し行い、学習内容の定着を図っている。

## 家庭教育との連携

- くすどりプリント（本校独自の学習プリント）を活用した自主学習の推進
- 学年だよりでの学習のポイントの伝達「1、2の算数」

# 1 学力調査結果の概要

## (1) 上尾市立小・中学校学力調査(令和2年12月実施)

### 第2学年(令和3年度第3学年)【国語】

項目	項目	
考察	全国平均と比べて0.2ポイント下回っている。読むことは全国平均と同じだが、話すこと、聞くこと、書くことの3つ領域はどれも下回っている。どの領域も理解が不十分である。	
課題	(課題) ・説明する内容を正しく読み取ること。 ・主語述語を判断すること。	(要因分析) 物語の文章は親しみやすいが、説明文は読みづらさを感じている。また、主語述語は学習してから日がたっており、あまり意識していないことが考えられる。

### 第2学年(令和3年度第3学年)【算数】

項目	項目	
考察	全国平均を上回っている。数と計算、測定、変化と関係、データの活用の領域では5ポイント上回っているが、図形の領域では、7ポイント下回っている。学習内容の定着に偏りが見られる。	
課題	(課題) ・いろいろな四角形や三角形を見分けたり、かいたりすること。	(要因分析) 授業で学習するときに、見分けたりかいたりする問題の量が少なかった。実態を把握して、定着させる時間を十分に確保できなかった。数学的活動が少なく、量感をつかませる指導が不足した。

### 第3学年(令和3年度第4学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、ほぼ全国平均と同等であった。</li> <li>・読むことでは、物語の内容を叙述に沿って読みとることの項目が低い。初見の文章を読みとれていない。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読みとる力</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語が理解できていない。</li> <li>・語彙力が乏しい。</li> </ul>

### 第3学年(令和3年度第4学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あまりのあるわり算」や「かけ算」の正答率が低かった。</li> <li>・文章問題の正答率が低かった。</li> <li>・計算の仕方は身に付いているが、計算の間違が多い。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・くり上がりがり下がりのかけ算を間違えている。</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・くり上がりをした数をたすことの定着が不足している。</li> <li>・7・8の段の九九が定着できていない。</li> </ul>

## 第4学年(令和3年度第5学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子を想像して読み取ること、説明されている内容を正しく読み取ること、作文を書くことが全国平均を下回っていた。</li> <li>・話し合いをする時の意見について、4年生で習った漢字を正しく書くことは全国平均を上回った。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解力が不足している。</li> <li>・書く力が不足している。</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書量と作文を書く経験の不足。</li> </ul>

## 第4学年(令和3年度第5学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・億を超える大きな数について、()を用いた式を作り問題を解くことが全国平均を下回った。</li> <li>・四則の混合した式を用いて問題を解くこと、いろいろな四角形の性質がわかることが全国平均を上回った。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・数の概念が定着していない。</li> <li>・問題を読み取ることができず、立式ができていない。</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・位取り表の仕組みが分かっておらず、位の上がり下がりを理解できていない。</li> <li>・問題の数字を見ているだけで、問われている意味を理解していない。</li> </ul>

## 第5学年(令和3年度第6学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域別にみると、全国平均を上回っている。特に「読むこと」の領域が上回っている。</li> <li>・その中でも低いとなると「話すこと・聞くこと」「知識及び技能」</li> <li>・内容別に見ると、読むことにおいて、人物の気持ちを想像しながら読み取ることが苦手。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を正確に聞くこと</li> <li>・文章を読み取ること。</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・何に着目して聞けばよいのかが理解できていない。</li> <li>・文章中の何を根拠として読み取ればよいかを理解していない。</li> </ul>

## 第5学年(令和3年度第6学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域別に見ると、「図形」の項目が、全国平均を上回っている。</li> <li>・反対に、全国平均を下回るのが、「変化と関係」、「データの活用」となっている。</li> <li>・内容別では、「小数のかけ算・わり算の計算」がとても低い。</li> </ul>	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な計算の仕方、技能が身に付いていない。</li> </ul>	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・位を意識して計算をしていない。</li> <li>・小数点の動かし方が定着していない。</li> </ul>

## 第6学年(令和3年度中学校第1学年)【国語】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>各領域や「知識・技能」「思考・判断・表現」では全国平均を上回っているため、基礎的な学力が身に付いていると言える。</li> <li>主体的に学習に取り組む態度が全国平均より低いため、国語に苦手意識があったり、学習意欲の低かったりする児童が多いことが推察される。</li> <li>書くことの領域の中でも、「人物の気持ちを想像しながら読むこと」の内容の数値が低い。説明文の数値は高いため、物語文への苦手意識があると言える。</li> </ul>		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における主体的に学習に取り組む態度の育成</li> <li>物語文における、登場人物の心情を考えながら読むことが苦手</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読み取りに自信がない。</li> <li>読書量が足りない。</li> <li>何をもとに、登場人物の心情を読み取ればいいのか理解できていない。</li> <li>文章の読み取りをする際、指示語がどれを指しているのか理解できていない。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における主体的に学習に取り組む態度の育成</li> <li>物語文における、登場人物の心情を考えながら読むことが苦手</li> </ul>	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読み取りに自信がない。</li> <li>読書量が足りない。</li> <li>何をもとに、登場人物の心情を読み取ればいいのか理解できていない。</li> <li>文章の読み取りをする際、指示語がどれを指しているのか理解できていない。</li> </ul>
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における主体的に学習に取り組む態度の育成</li> <li>物語文における、登場人物の心情を考えながら読むことが苦手</li> </ul>	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読み取りに自信がない。</li> <li>読書量が足りない。</li> <li>何をもとに、登場人物の心情を読み取ればいいのか理解できていない。</li> <li>文章の読み取りをする際、指示語がどれを指しているのか理解できていない。</li> </ul>		

## 第6学年(令和3年度中学校第1学年)【算数】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>各領域や各観点で全校平均の数値を上回っているため、基礎的な学力が身に付いていると言える。</li> <li>領域では「数と計算」の正答率が若干低い。中でも、「分数の掛け算・割り算」の内容が全国平均を下回っている。分数の乗除の意味を理解している児童は多いため、計算に苦手意識がある児童が多いことが分かる。</li> <li>「線対象と点対称な図形の作図」の正答率が低い。</li> </ul>		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数の掛け算・割り算の計算問題</li> <li>線対象と点対称な図形の作図</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約分ができない。</li> <li>公約数、公倍数に慣れていない。</li> <li>計算ミスが多い。</li> <li>点対称と線対象の違いが理解できていない。</li> <li>作図に苦手意識がある。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数の掛け算・割り算の計算問題</li> <li>線対象と点対称な図形の作図</li> </ul>	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約分ができない。</li> <li>公約数、公倍数に慣れていない。</li> <li>計算ミスが多い。</li> <li>点対称と線対象の違いが理解できていない。</li> <li>作図に苦手意識がある。</li> </ul>
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数の掛け算・割り算の計算問題</li> <li>線対象と点対称な図形の作図</li> </ul>	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約分ができない。</li> <li>公約数、公倍数に慣れていない。</li> <li>計算ミスが多い。</li> <li>点対称と線対象の違いが理解できていない。</li> <li>作図に苦手意識がある。</li> </ul>		



## (2)全国学力・学習状況調査(令和3年5月実施)

### 国語

#### 考察(問題と結果の分析)

全国に比べ、正答率が低かった。特に、要約文が書けない。また、資料から必要な情報を取り出すことができない。要約文を書く問題については、全国の正答率も3割近くと低かった。

#### 課題の要因分析

文の中で正しい漢字を書くことができない傾向があることがわかった。漢字の技能に関しては、できる児童とできない児童の差が激しいことがわかった。本校でも、自分の考えを、持たせることや、書くことの指導をしていく。



#### 各学年における重点指導事項

6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の振り返りなどをノートに書き、文章を書く機会を設ける。また、既習の漢字は使うように指導していく。</li><li>・授業の中で、自分の意見を書く時間や、まわりの友達と意見を交流する時間を十分に確保し、自分の考えを表現させる。</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミニ作文や振り返りなどに取り組みせ、文章を書く経験を積ませる。</li><li>・授業の中で、叙述を基に自分の考えをまとめたり、相手に伝えたりする時間を確保し、表現させる。</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・国語辞典を使って、語彙を増やす。</li><li>・「漢字の広場」を中心に、主語・述語を意識した短作文を作り、ノート等に書かせる。</li><li>・物語文や説明文の学習では、叙述を基に内容をとらえさせる。</li></ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・「始め」「中」「終わり」を意識し、主語、述語を正しく使って、継続的に小作文に取り組みさせる。</li><li>・伝えたいことのわけを話したり書いたりできるようにする。</li><li>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読ませる。</li></ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いを、短文に書き表す活動に継続的に取り組みさせる。</li><li>・読書に親しむ時間をつくり、言語への興味・関心を高める。</li></ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いを、短文に書き表す活動に取り組みさせる。</li><li>・読書に親しむ時間をつくり、色々な本があることをに気づかせる。</li></ul>

# 算数

## 考察(問題と結果の分析)

全国に比べ、どの領域も正答率が低かった。全国の正答率との差が大きかった。算数においても、計算問題に比べ、考えを記述する問題が特に低かった。自分の考えを説明したり、書いたりする指導をしていく。

## 課題の要因分析

学校だけでなく家庭とも連携を図り、繰り返し学習をすることで学習の定着を図っていく。自分の考えを説明したり、書いたりする指導をしていく。



## 各学年における重点指導事項

6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル教材や具体物など数量の変化が視覚的に捉えられるような教具を提示する。また、体験的な学習の機会を増やす。</li><li>・日常生活の中で見られる図形に注目させ、生活の中でその図がどのような性質を活用して使われているのかを考えさせる。</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・問題を解く際、図や数直線等、児童自身が問題解決に必要な手段を考え、選択できるようにさせる。そのため、その手段の方法を指導し、積み重ねていく。</li><li>・授業の中で、自分の意見を書く時間や、まわりの友達と意見を交流する時間を十分に確保し、自分の考えを表現させる。</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が解いてみたいと思うような問題場面を工夫する。</li><li>・自分の考えを言葉や数字、式などを使って書く機会を設定する。</li></ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体物や半具体物の操作等、数学的活動を多く取り入れ、数量の感覚を正しくつかませる。</li><li>・問題解決のために必要となる算数の用語に着目させ、自分の考えをもてるようにさせる。</li></ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"><li>・導入場面を工夫することにより、児童の関心・意欲を高める。</li><li>・絵、図などを用いて、それらの見方を身に付けさせるとともに、理解を深める。</li></ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体物を用いた活動などを通して数についての感覚を身に付けさせる。</li><li>・ICT機器を効果的に活用し、理解を深める。</li></ul>

### (3) 埼玉県学力・学習状況調査(令和3年5月実施)

## 国語

学年	項目
4年	考察(現状分析・実態) ・学力レベルは、県の平均と同等である。 ・文中の主語述語を選択すること、指示語の示す内容を書きめぐること、複数の意味をもつ言葉の文脈に即した意味を選択することに課題がある。 ・物語に書かれている様子を文脈に沿って読み取ることに課題がある。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・国語辞典や漢字辞典をすぐに使えるように準備しておいたことで、言葉の意味を理解することができていた。 ・文章の推敲を行う際、ペアや小グループで比べる時間を確保し、表現の確認や相手の意見や考えを聞く機会を設ける。 ・下学年の文法に関する問題を印刷して、取り組ませる。
5年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・学力レベルは県の平均と同等。 ・主語と述語の関係を理解し、適切な文に直して書く問題、インタビューの流れから質問の内容を読みとる問題、目的に応じて理由を挙げながら自分の考えを書く問題については、県・市の平均を大きく上回っている。 ・書く能力が身に付いてきている。 ・しかし、修飾・被修飾の関係と、物語文における登場人物の考えと理由を理解することに課題がある。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・国語において、書く力の向上に取り組んだことで、県平均を20%以上上回った。 ・前学年での学習内容につまずきがあると考えられるので、既習の学習内容を確認しながら当該学年の授業を丁寧に進めていく。 ・漢字の学習に繰り返し取り組み定着を図る。
6年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・学力レベルは、県の平均並であり、「言葉の特徴と使い方」が一番県の平均よりも下回った。 ・72%の児童に伸びが見られた。 ・「言葉の特徴と使い方」(慣用句の意味、主語・述語、指示語の理解)の正答率が低く、書くこと課題が見られる。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・三段落で記述する取組を行ったため、自分の考えを書くことができるようになってきた。 ・週末に読書をする取組を行い、以前よりも読書をする習慣が身についたが、自分から進んで読書をする児童が少ないため、取り組みを続けていく。 ・物語文や説明文学習であっても、主語・述語に着目するなど、横断的な学習を進める。

## 算数

学年	項目
4年	考察(現状分析・実態) ・学力レベルは県平均より高い。 ・円周や直径の長さについての応用が困難である。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・プリントを印刷して、単元の終わりに取り組ませたことで、学習内容の定着が図れた。 ・実体験によって、実際に数や量の感覚を身に付けさせる。
5年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・概ね県の平均と同等である。 ・割り切れない除法、文章題に課題がある。 ・四則計算の( )を用いた計算の正答率が低い。 ・比例の問題は正答率が高い。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・個人で考える時間を十分に確保した。 ・繰り返しドリルに取り組んだ。 ・宿題等で四則計算に繰り返し取り組む。 ・今年度の取り組みを引き続き行っていく。
6年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・学力レベルは、県の平均よりも下回っている。(78.2%が伸びた。) ・ほとんどの分野が県平均よりも下回った。「データの活用」「図形」の分野がより下回っている。 ・評価の観点のうち、知識・技能に関する資質が特に低い。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・算数ドリルなどの繰り返しの活用が学力の定着につながっている。 ・文章題の正答率が低いため、与えられた課題を解決するために、図や数直線、表を用いて、自分の考えをノートにまとめさせたり、自分の言葉で説明できるようにする。 ・文章問題を読むだけでなく、意味を捉えさせる。

## 2 学力向上を図る取組

### (1) 各教科の授業における取組

## ① 国語科 学力向上プラン

### 重点的に伸ばす学力

基本的な言語事項の定着を図り、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力を育成する。

### 各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを順序立てて考えたり、話したりさせる。</li> <li>・話し手の方を向き、話を聞く態度を身に付けさせる。</li> <li>・自分の思いを、短文に書き表す活動に取り組みさせる。</li> <li>・読書に親しむ時間をつくり、色々な本があることをに気づかせる。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを相手に伝わるように、順序立てて考えたり、話したりさせる。</li> <li>・話し手の方を向き、最後まで話を聞く態度を身に付けさせる。</li> <li>・自分の思いを、短文に書き表す活動に継続的に取り組みさせる。</li> <li>・読書に親しむ時間をつくり、言語への興味・関心を高める。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な言葉遣いに気を付け、伝えたいことを落とさずに話すようにさせる。</li> <li>・話し手を見て、話し手の意図を考えて、最後まで聞くようにさせる。</li> <li>・「始め」「中」「終わり」を意識し、主語、述語を正しく使って、継続的に小作文に取り組みさせる。</li> <li>・伝えたいことのわけを話したり書いたりできるようにする。</li> <li>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読ませる。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典を使って、語彙を増やす。</li> <li>・文章を読む機会を多く設ける。</li> <li>・「漢字の広場」を中心に、主語・述語を意識した短作文を作り、ノート等に書かせる。</li> <li>・物語文や説明文の学習では、叙述を基に内容をとらえさせる。</li> <li>・聞いたことを書く練習をする。</li> </ul>	

5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読解力を身につけさせるために、週末読書に取り組む。</li> <li>・ミニ作文や振り返りなどに取り組ませ、文章を書く経験を積ませる。</li> <li>・授業の中で、叙述を基に自分の考えをまとめたり、相手に伝えたりする時間を確保し、表現する力を育成する。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の振り返りなどをノートに書き、文章を書く機会を設ける。また、既習の漢字は使うように指導していく。</li> <li>・読書の習慣をつけ、読解力の向上を図る。</li> <li>・授業の中で、自分の意見を書く時間や、まわりの友達と意見を交流する時間を十分に確保し、自分の考えを表現する力を育成する。</li> </ul>	

- A・・・取組の効果が十分に見られた
- B・・・今後も課題として取り組む
- C・・・取組を見直す

## ② 社会科 学力向上プラン

### 重点的に伸ばす学力

地図や資料を効果的に活用し、調べたことや考えたことを表現する力の育成を図る。

### 各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が調べてみたいと思うように、課題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・資料の提示の仕方を工夫し、必要な情報を読み取り、自分の考えをもつことができるようにさせる。</li> <li>・自分の考えを交流する場を設け、学習に対する意欲を高める。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が調べてみたいと思うように、課題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・資料の提示の仕方を工夫し、必要な情報を読み取り、自分の考えをもつことができるようにさせる。</li> <li>・自分の考えを交流する場を設け、学習に対する意欲を高める。</li> </ul>	

5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が調べてみたいと思うように、資料を用意し課題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・資料の提示の仕方を工夫し、必要な情報を読み取らせる。</li> <li>・自分の考えをノートやワークシートに書かせ、説明・発表させる。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用して理解を促す。</li> <li>・日常生活との関連も意識して、課題設定等をしていく。</li> <li>・資料を読み取る活動を取り入れ、着目点を明確にして取り組ませる。また、他の資料と比較させ、共通点や相違点、変化等について読み取り、説明させる。</li> <li>・自分の考えを表すときは、根拠をはっきりとさせて、言葉や図で説明・発表させる。また、適宜話合いの活動も設けて、自分の考えを広げる一助としていく。</li> </ul>	

- A・・・取組の効果が十分に見られた
- B・・・今後も課題として取り組む
- C・・・取組を見直す

## ③ 算数科 学力向上プラン

### 重点的に伸ばす学力

知識・技能の確実な定着を図り、それを活用して数学的な思考力を向上させていく。

### 各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面を工夫することにより、児童の関心・意欲を高める。</li> <li>・具体物を用いた活動などを通して数についての感覚を身に付けさせる。</li> <li>・ICT機器を効果的に活用し、理解を深める。</li> <li>・絵、図などを用いて、それらの見方を身に付けさせるとともに、理解を深める。</li> </ul>	

2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面を工夫することにより、児童の関心・意欲を高める。</li> <li>・具体物を用いた活動などを通して数についての感覚を身に付けさせる。</li> <li>・ICT機器を効果的に活用し、理解を深める。</li> <li>・絵、図などを用いて、それらの見方を身に付けさせるとともに、理解を深める。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や半具体物の操作等、数学的活動を多く取り入れ、数量の感覚を正しくつかませる。</li> <li>・問題解決のために必要となる算数の用語に着目させ、自分の考えをもてるようにさせる。</li> <li>・ICT機器を効果的に活用し、理解を深める。</li> <li>・練習問題に数多く取り組ませ、知識・技能の定着を図る。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物やデジタル教材を使用して、学習内容の理解を深める。</li> <li>・児童が解いてみたいと思うような問題場面を工夫する。</li> <li>・自分の考えを言葉や数字、式などを使って書く機会を設定する。</li> <li>・繰り返し復習を行う。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四則計算の定着を図るため、繰り返し問題を解かせる。</li> <li>・数量関係や図形等の学習では、特にICT機器を活用させたり、具体物を活用させたりしながら、体験的な活動をおこなっていく。</li> <li>・問題を解く際、図や数直線等、児童自身が問題解決に必要な手段を考え、選択できるようにさせる。そのため、その手段の方法を指導し、積み重ねていく。</li> <li>・授業の中で、自分の意見を書く時間や、まわりの友達と意見を交流する時間を十分に確保し、自分の考えを表現する力を育成する。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能を定着させるために継続して問題を解く機会を設定する。</li> <li>・デジタル教材や具体物など数量の変化が視覚的に捉えられるような教具を提示する。また、体験的な学習の機会を増やす。</li> <li>・日常生活の中で見られる図形に注目させ、生活の中でその図がどのような性質を活用して使われているのかを考えさせる。</li> </ul>	

- A・・・取組の効果が十分に見られた
- B・・・今後も課題として取り組む
- C・・・取組を見直す

## ④ 理 科 学 力 向 上 プ ラ ン

### 重点的に伸ばす学力

基礎的・基本的な知識・技能の定着と科学的な思考力や表現力の育成を図る。

### 各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に課題意識をもたせ、学習活動の過程を意識させる。</li> <li>・ 観察、実験の際に見方や考え方のポイントを押さえ、自分の考えを文章や絵で表現する活動を取り入れる。</li> <li>・ I C T機器を効果的に活用し、理解を深める。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題や課題を解決するための手立てや方法など、児童に課題意識をもたせ、学習活動の過程を意識させる。</li> <li>・ 観察、実験の際に見方や考え方のポイントを押さえ、自分の考えを文章や絵で表現する活動を取り入れる。</li> <li>・ I C T機器を含め、様々な道具を活用し、自然の事物・現象について違いを発見する楽しさを味わわせる。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察や実験では予想とその根拠についてノートに書き、結果から分かることを自分の言葉で書かせる。</li> <li>・ 実験道具、I C T機器を活用し、身の回りの現象の変化とその要因を関連付けさせる。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各実験を行う前に、比較すべきことを確認し、条件制御の必要性について考える時間を取り入れる。</li> <li>・ 実験結果を予想し、その根拠について考える時間を取り入れる。</li> <li>・ 実験結果から読み取ったことを言葉や文章、絵で表現し、まとめる活動を取り入れる。</li> <li>・ I C T機器を含め様々な教材・教具を活用し、科学的事象を体感的に理解させる。</li> </ul>	

A・・・取組の効果が十分に見られた

B・・・今後も課題として取り組む

C・・・取組を見直す



## ⑤ 他教科の授業改善

### ○生活科

1年	<p>《身に付けさせる学力》 人との関わりを通して、児童自身が自分自身の成長を振り返り、発表する力を育む。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察や活動の視点を示し、振り返ったり気づきを交流したりする場を設定する。</li> <li>・ 感じたり気付いたりしたことを、言葉、絵などで表現できるようにする。</li> <li>・ 人と関わり合いながら、試行錯誤を繰り返し、新たな発見をしたり気付いたりさせる。</li> </ul>
2年	<p>《身に付けさせる学力》 具体的な活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現することができるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察や活動の視点を示し、振り返ったり気づきを交流したりする場を設定する。</li> <li>・ 感じたり気付いたりしたことを、言葉、絵などで表現できるようにする。</li> <li>・ 人と関わり合いながら、試行錯誤を繰り返し、新たな発見をしたり気付いたりさせる。</li> </ul>

### ○音楽科

1年	<p>《身に付けさせる学力》 楽しく音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽に親しみ、音楽表現に必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想や拍の流れを感じ取り、楽しく身体表現をする。</li> <li>・ 拍の流れにのって、リズム遊びを楽しむ。</li> <li>・ 様々な歌唱や曲を聴かせ、音楽に対する視野を広げる。</li> </ul>
----	--

2年	<p>《身に付けさせる学力》      楽しく音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽に親しみ、音楽表現に必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想や拍の流れを感じ取り、楽しく身体表現をする。</li> <li>・ 拍の流れにのって、リズム遊びを楽しむ。</li> <li>・ 様々な歌唱や曲を聴かせ、音楽に対する視野を広げる。</li> </ul>
3年	<p>《身に付けさせる学力》      進んで音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽に親しみ、基礎的な表現の能力を育む。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体全体で反応するなど、夢中になって取り組む活動を工夫し、表現の能力を楽しく身に付けさせ、音楽表現の楽しさに気付くようにする。</li> </ul>
4年	<p>《身に付けさせる学力》      進んで音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽に親しみ、音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容や、曲想に注目して曲の特徴を捉えた表現を工夫させる。</li> <li>・ 友達と一緒に、歌唱や器楽演奏をする楽しさを味わわせる。</li> </ul>
5年	<p>《身に付けさせる学力》      主体的に音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら音楽に親しみ、音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容や、曲想に注目して曲の特徴を捉えた表現を工夫させる。</li> <li>・ 反復学習を行い、ハ長調の視唱・視奏の技能を身に付けさせる。</li> </ul>
6年	<p>《身に付けさせる学力》      主体的に音楽にかかわり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら音楽に親しみ、音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容や、曲想に注目して曲の特徴を捉えた表現を工夫させる。</li> <li>・ 反復学習を行い、ハ長調イ短調の視唱・視奏の技能を身に付けさせる。</li> <li>・ 変声期等の児童に配慮する。</li> </ul>

## ○図画工作科

1年	<p>《身に付けさせる学力》 造形遊びを楽しみ、手や体全体の感覚などを働かせ、つくり出す喜びを味わうとともに、楽しんで制作する態度を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料を用いたり、扱いやすい用具を使ったりして、十分に慣れさせる。</li> <li>・児童が思い付いたことや方法を、すぐに試することができる環境を用意する。</li> </ul>
2年	<p>《身に付けさせる学力》 造形遊びを楽しみ、手や体全体の感覚などを働かせ、つくり出す喜びを味わうとともに、楽しんで制作する態度を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料を用いたり、扱いやすい用具を使ったりして、十分に慣れさせる。</li> <li>・児童が思い付いたことや方法を、すぐに試することができる環境を用意する。</li> </ul>
3年	<p>《身に付けさせる学力》 造形活動を楽しみ、豊かな発想で、体全体の感覚や技能などを働かせながら表現することへの喜びを味わうとともに、楽しんで制作する態度を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具を十分用意し、それらに慣れさせることで、夢中になって活動できるようにする。</li> <li>・手本となる作品を提示し、手順を詳しく説明することで、豊かな発想につなげる</li> </ul>
4年	<p>《身に付けさせる学力》 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予告と準備を確実にを行う。</li> <li>・本時の学習の流れを明確化する。</li> <li>・鑑賞を通し、友だちの作品の良さをとらえ、表現力を広げられるようにする。</li> </ul>
5年	<p>《身に付けさせる学力》 新しい道具や技法の習熟を行い、材料・用具の工夫や言語活動の充実を図り、創造的に作ったり、表したりする技能を身に付けさせる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデリングを行い、技法や表現力の向上を図る。</li> </ul>

6年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T 機器等を活用して、意欲を高めたり、やり方を具体的に示したりすることで、活動に取り組みやすくする。</li> <li>・ 既習の技法（にじみ、ぼかし等）や新しい技法を実際に示していくことで、児童の表現の幅が広がるように工夫する。</li> <li>・ 適宜、話し合い活動を設けることにより、表したいものへのイメージを膨らませたり、様々な表現の仕方があることに気付かせたりする。</li> </ul>
----	---

## ○家庭科

5年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>日常場面と関連させて、実践的・体験的な活動をとおして、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の場面から課題に気付かせて、話し合い活動等をとおして、解決に向かうようにする。</li> <li>・ 実習や製作の活動では、安全指導をするとともに、基本的な技能や用語の定着を図る。</li> <li>・ I C T 機器を活用して、調理や製作場面の具体的なイメージをもたせて、活動への意欲を高めたり、活動しやすくしたりする。</li> </ul>
6年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>衣食住など生活の様々な言葉について、自分の生活経験と関連付けながら解決方法を考えて、実践活動を評価・振り返る力を身に付けさせる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習得した知識や技能を実生活に結びつけて、実践的・体験的活動に取り組ませる。</li> <li>・ 生活の中から問題を見い出して自ら課題を設定し、課題解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりする活動を実践させる。</li> </ul>

## ○体育科

1 年	<p>《身に付けさせる学力》 運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付け、体力を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の仕方や競争のルール等を児童の実態に応じて工夫し、児童が運動を楽しめるようにする。</li> <li>・体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けさせ、児童が運動を楽しく、力いっぱい活動できるようにする。</li> </ul>
2 年	<p>《身に付けさせる学力》 運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付け、体力を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の仕方や競争のルール等を児童の実態に応じて工夫し、児童が運動を楽しめるようにする。</li> <li>・体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けさせ、児童が運動を楽しく、力いっぱい活動できるようにする。</li> </ul>
3 年	<p>《身に付けさせる学力》 運動の楽しさに触れ、進んで体を動かすことで体力、運動技能、行い方の工夫や考えを伝える力を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・易しい運動遊びを通して、運動の楽しさを味わわせることで、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けさせる。</li> <li>・体の動かし方やより楽しく遊ぶためにはどうすればいいか考え、伝えさせる。</li> </ul>
4 年	<p>《身に付けさせる学力》 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間の確保をする（30分）。</li> <li>・場の工夫や課題を明確化することで、児童が意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>
5 年	<p>《身に付けさせる学力》 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場の工夫や課題の明確化、評価の一体化を行い、児童の意欲を喚起する。</li> <li>・運動の楽しさを味わわせ、休み時間等の生活化を意識した授業を展開する。</li> </ul>

6 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材・教具を活用することで、指示や説明を必要最低限に絞り、十分な運動量を確保する。</li> <li>・単元・授業のねらいを確認し、本時に必要な運動の技能について児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。</li> <li>・振り返りを行い、自己の課題を見付けさせる。</li> </ul>
--------	--

## ○英語活動・外国語活動・外国語科

1 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>外国語による聞くこと・話すこの言語活動を通して、相手に話しかける力を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせてゲームや歌を設定し、楽しい雰囲気で行う。</li> <li>・Class Room English を実施し、外国語に慣れ親しませる。</li> </ul>
2 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>外国語による聞くこと・話すことの言語活動を楽しみ、進んで参加しようとする態度を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせてゲームや歌を設定し、楽しい雰囲気で行う。</li> <li>・Class Room English を実施し、外国語に慣れ親しませる。</li> </ul>
3 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>外国語による聞くこと・話すことの言語活動を通して、自分から進んで話しかける力を育成する。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせてゲームや歌を設定し、楽しい雰囲気で行う。</li> <li>・Class Room English を実施し、外国語に慣れ親しませる。</li> </ul>

4年	<p>《身に付けさせる学力》 外国語を通して、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 単位時間の指導の充実を図る。</li> <li>・ Class Room English の実施により児童及び教師の意識改革を図る。</li> <li>・ ふり返りカードの活用により、自己評価ができるように指導する。</li> </ul>
5年	<p>《身に付けさせる学力》 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 単位時間の指導の充実を図る。</li> <li>・ Class Room English の実施により児童及び教師の意識改革を図る。</li> <li>・ ふり返りカードの活用により、自己評価をし、次時への見通しをもたせる。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットの大文字や小文字を覚え、自分の名前などを書く活動を繰り返し行い、書く力を向上させる。</li> <li>・ 4 線黒板を使い、線を意識して正しくアルファベットを覚えさせる。</li> <li>・ まわりの友達とペアやグループで簡単な会話をする時間を設け、楽しみながらやりとりに慣れさせる。</li> <li>・ フラッシュカードやチャンツなどを活用して繰り返し練習を行い、視覚的・聴覚的に単語や発音を覚えさせる。</li> </ul>

## ○特別の教科 道徳

1年	<p>《身に付けさせる力》 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、自他を大切にすることを育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の感じたことや思ったことなどを自由に発表し合い、友達のいろいろな考え方に気付かせる。</li> <li>・ 自分自身を振り返り、自分の良さや自分ができないことなどに気付き、これからの自分について考えさせる。</li> <li>・ 効果的な教材の提示や場の工夫をする。</li> </ul>
----	--

2年	<p>《身に付けさせる学力》          基本的な生活習慣を身に付けるとともに、自他を大切にすることを育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感じたことや思ったことなどを自由に発表し合い、友達のいろいろな考え方に気付かせる。</li> <li>・自分自身を振り返り、自分のよさや自分ができないことなどに気づき、これからの自分について考えさせる。</li> <li>・効果的な教材の提示や場の工夫をする。</li> </ul>
3年	<p>《身に付けさせる学力》          基本的な生活習慣を身に付けるとともに、自他を大切にすることを育て、実践する力を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の意見を尊重し、どのような考えも安心して発表できる学級の雰囲気をつくる。</li> <li>・道徳的な価値を実感させ、生活で実践することができるよう自分を見つめさせる。</li> </ul>
4年	<p>《身に付けさせる力》          集団や社会の決まりを守る心を育てるとともに、自他の生命を尊重し、命を大切にすることを養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のよさを認め合い、学級の一員として、共に生きる心を育てる。</li> <li>・道徳的な価値を実感させ、生活で実践することができるよう自分を見つめさせる。</li> </ul>
5年	<p>《身に付けさせる力》          集団や社会の決まりを守り、身近な人々と協力し助け合う心を育てるとともに、自他の生命を尊重し、命を大切にすることを養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の意見を尊重し、どのような考えも安心して発表できる学級の雰囲気をつくる。</li> <li>・道徳的な価値を実感させ、生活で実践することができるよう自分を見つめさせる。</li> </ul>



6  
年

《身に付けさせる学力》

相手の気持ちを考え行動する態度を育てるとともに、集団としての役割と責任を果たし、その経験を生かしながら、自分の夢や希望をもとうとする態度を育てる。

多面的多角的に考える学習を通して、違いを認め合う社会を構築する。

《具体的な取組》

- ・一人ひとりのよさを認め合い、学級の一員として共に生きる心を育てる。
- ・道徳的な価値を実感させ、生活で実践することができるよう自分を見つめさせる。
- ・話し合いをとおして、互いの違いを確認し、承認する。

## (2) 教育活動全体を通じた取組

<b>本校の特色ある取組</b>	
① P T A 活動 学校応援団	(1) 毎月初めに保護者・教職員が校門に立ち、あいさつ運動を行う。 (2) ビオトープの保全活動を定期的に行う。 (3) 2年生のさつまいも植えや収穫等、学習や体験活動の補助を行っている。 (4) 職員室前に「生き物コーナー」を設置し、週2～3回えさやりや水替えの協力を行っている。 (5) 地域への啓蒙活動をコーディネーターに行っていただいている。
② 特別活動 の取組	(1) 児童会による校内あいさつ運動を毎週水曜日に実施している。 (2) 希望者によるあいさつボランティアの実施をしている。
③ 道徳科の取組	(1) 授業参観で各学級1回授業を公開する。 (2) I C T機器を活用した授業を行う。 (3) 道徳だよりを各学期に一回家庭に配付をする。 (4) 各学年で道徳資料を單元ごとに整理をしている。
④ 外国語活動の 取組	(1) ポートフォリオを活用して、指導・評価の工夫をする。 (2) 学級担任（教科担任）と A L Tが協力して授業を行う。

## 家庭教育との連携

①家庭学習の充実	(1) くすどりプリントの活用を学校側から保護者に啓発するとともに、教師による継続的な指導により活用率を向上させ、習熟を図る。 (2) 各学年で家庭学習カードを活用し、家庭学習の充実を図る。 (3) 学年だよりで学習のポイント「1.2 の算数」を伝達し、家庭学習に活かす。
②学校公開	(1) 授業参観、学校公開等で学校での学習状況や児童の活動を家庭に把握していただく。また、学校公開時にアンケート調査を行い、それを検証することで学校教育活動の改善を図る。 (2) 学習準備、家庭学習・早寝早起き朝ごはん等の家庭の協力を得る。
③学校メール配信・学校ホームページ活用	(1) 適宜、学校配信メール（さくら連絡網）で学校情報・教育情報、不審者情報等を配信する。 (2) 行事や授業の様子を学校ホームページに公開し、情報を発信するとともに、家庭の協力を得る。

